



2026年3月期 期末

決算説明資料

GMB株式会社

東証スタンダード市場

証券コード：7214

<https://www.gmb.jp>

I. 2026年3月期実績

II. 2027年3月期計画

III. トピックス

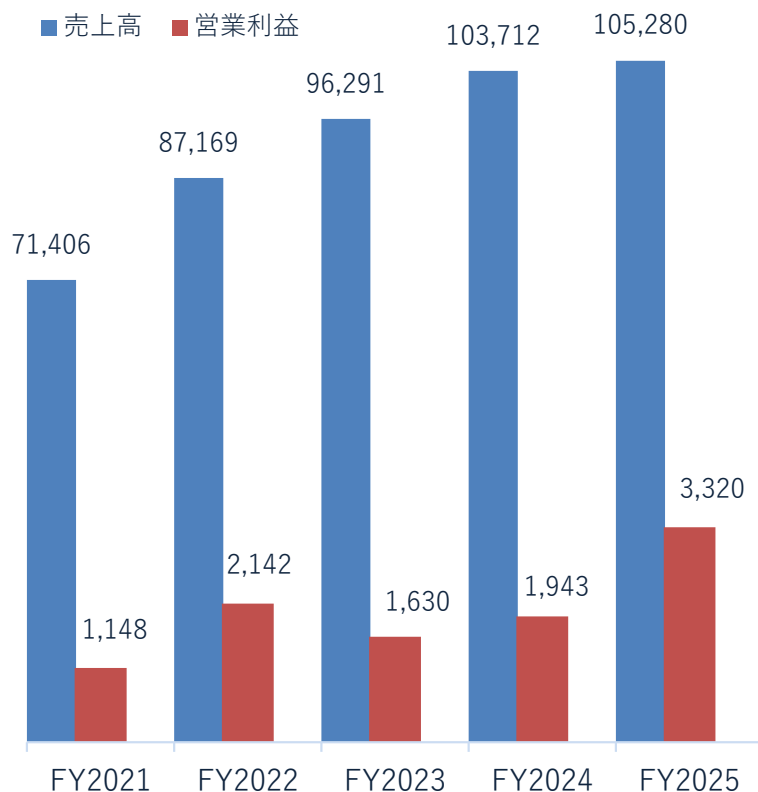
2026年3月期 連結業績



- 電動化対応製品を中心に韓国や中国の新車用部品市場の販売が好調に推移し、補修用部品市場でも販売価格の見直しを継続するなどにより増収
- 販売価格の見直しや生産性の改善、コスト削減などに加えて韓国子会社の退職給付費用の減少により営業利益は増益
- 米国・ロシア拠点において固定資産の減損損失19億円を特別損失で計上したことなどにより純利益はマイナスとなる

(単位：百万円)

5年間の業績推移



| | FY2024 | FY2025 | 増減 (増減率) |
|-----------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 売上高 (同利益率) | 103,712 (100.0%) | 105,280 (100.0%) | 1,568 (1.5%) |
| 売上総利益 (同利益率) | 18,109 (17.5%) | 19,403 (18.4%) | 1,294 (7.1%) |
| 営業利益 (同利益率) | 1,943 (1.9%) | 3,320 (3.2%) | 1,377 (70.9%) |
| ※ (同利益率) | 2,754 (2.7%) | 2,791 (2.7%) | 36 (1.3%) |
| 経常利益 (同利益率) | 1,767 (1.7%) | 2,948 (2.8%) | 1,180 (66.8%) |
| 純利益 (同利益率) | 592 (0.6%) | ▲1,035 (▲1.0%) | ▲1,627 |
| EPS | 111.66 | ▲194.60 | ▲306.26 |
| 換算レートUSD | 151.57 | 149.71 | |
| 換算レートKRW | 0.1112 | 0.1053 | |

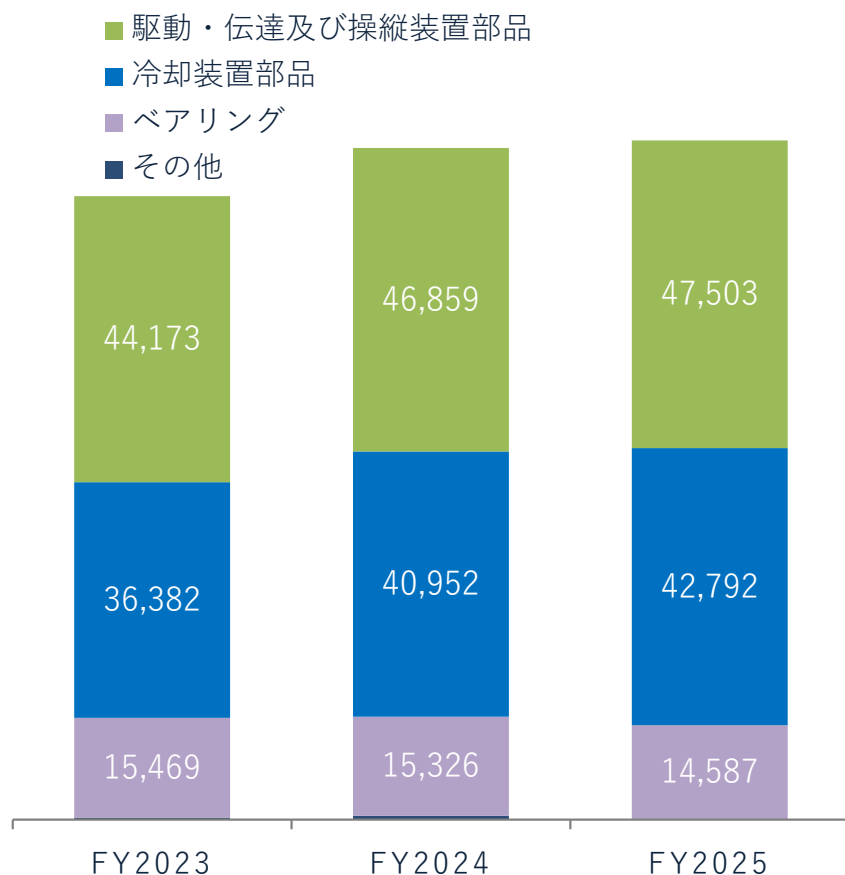
※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

連結売上高

- 韓国や中国において新車用部品市場のインテグレートド・サーマル・モジュール（冷却装置部品）に加えて、欧州の新車用部品市場及び海外の補修用部品市場におけるユニバーサルジョイント（駆動・伝達及び操縦装置部品）の販売が増加
- 米国市場では販売先を見直すなどの対応により販売が減少

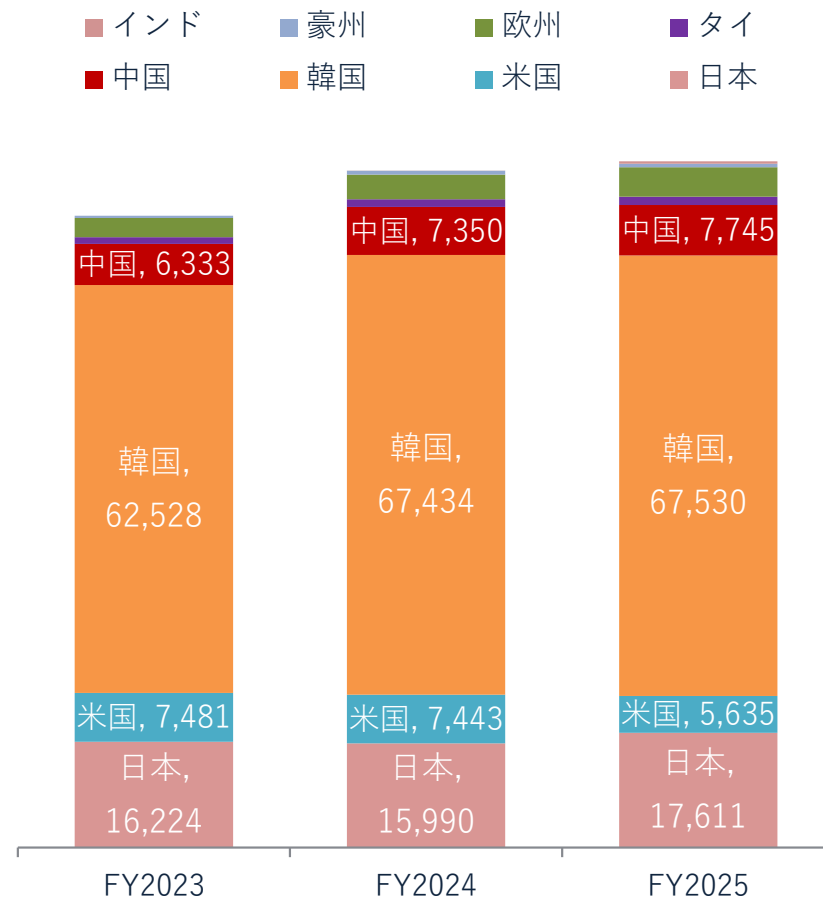
品目分類別の推移

(単位：百万円)



所在地セグメント別の推移

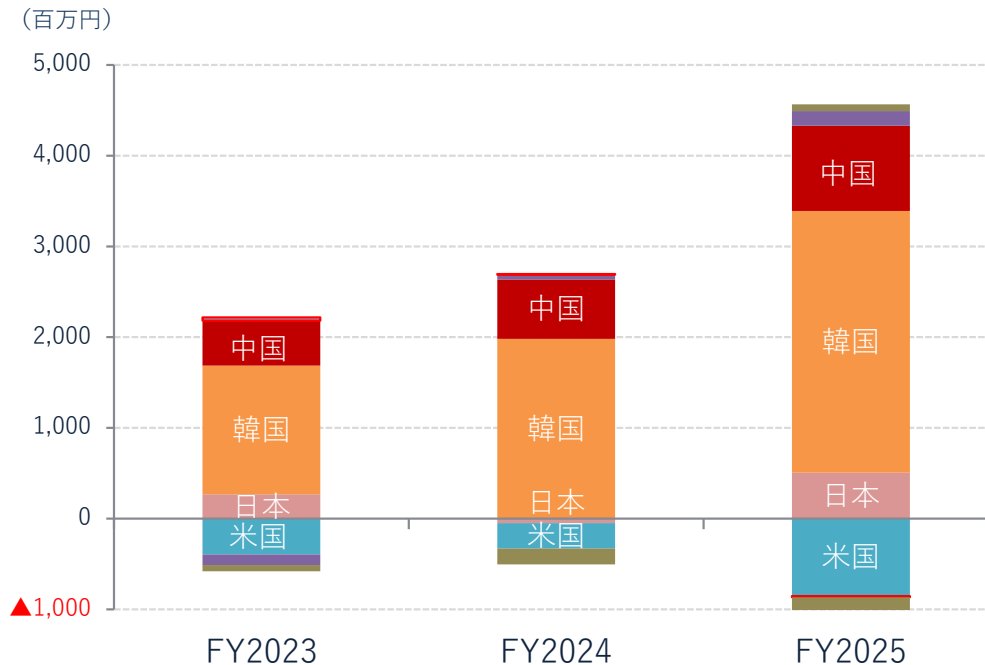
(単位：百万円)



連結営業利益



所在地セグメント別の推移



| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 日本 | 269 | ▲48 | 508 |
| 米国 | ▲394 | ▲282 | ▲854 |
| 韓国 | 1,418 | 1,988 | 2,883 |
| ※ | 2,522 | 2,799 | 2,354 |
| 中国 | 495 | 655 | 939 |
| タイ | ▲118 | 53 | 162 |
| 欧州 | ▲69 | ▲104 | 73 |
| 豪州 | 36 | 8 | ▲13 |
| インド | - | ▲71 | ▲141 |
| 調整額 | ▲5 | ▲254 | ▲236 |
| 連結 | 1,630 | 1,943 | 3,320 |
| ※ | 2,734 | 2,754 | 2,791 |

※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

- 日本は増収の影響に加えて、販売価格の見直しの継続や仕入価格の見直しによる輸入コストの低下などにより増益
- 米国は関税負担の増加や倉庫の集約にかかる費用の一時的な増加等の影響を受ける
- 韓国は輸出コストが増加するなどしたものの、電動化対応製品の販売増加や数理計算上の影響による退職給付費用の減少などにより増益
- 中国は電動化対応製品の販売増加などにより増益
- タイはタイ国内向けの販売増加などにより増益
- 欧州では新車用部品市場における販売の増加やロシア拠点の在庫評価の見直しもあり採算改善
- インドは本格稼働前で関連経費の支出が先行

連結営業利益以下の内訳



(単位：百万円)

| | FY2024 | FY2025 | 増減額 |
|---------------|---------|---------|------------|
| 営業利益 | 1,943 | 3,320 | 1,377 |
| 営業外収益 | 1,438 | 1,447 | 9 |
| (うち為替差益) | (755) | (559) | (▲196) |
| (うち受取賃貸料) | (176) | (50) | (▲125) |
| (うちデリバティブ利益) | (-) | (320) | (320) ※1 |
| (うちデリバティブ評価益) | (172) | (-) | (▲172) ※1 |
| (うち持分法投資利益) | (39) | (19) | (▲19) |
| (うち補助金収入) | (18) | (37) | 19 |
| 営業外費用 | 1,613 | 1,820 | 206 |
| (うち金融費用) | (1,494) | (1,344) | (▲150) |
| (うちデリバティブ評価損) | (-) | (316) | (316) |
| 経常利益 | 1,767 | 2,948 | 1,180 |
| 特別利益 | 39 | 58 | 18 |
| (うち固定資産売却益) | (39) | (45) | (5) |
| 特別損失 | 76 | 2,010 | 1,934 |
| (うち減損損失) | (34) | (1,947) | (1,912) ※2 |
| 税引前利益 | 1,730 | 995 | ▲734 |
| 法人税等 | 473 | 1,513 | 1,040 |
| 非支配株主損益 | 664 | 517 | ▲146 |
| 純利益 | 592 | ▲1,035 | ▲1,627 |

※1

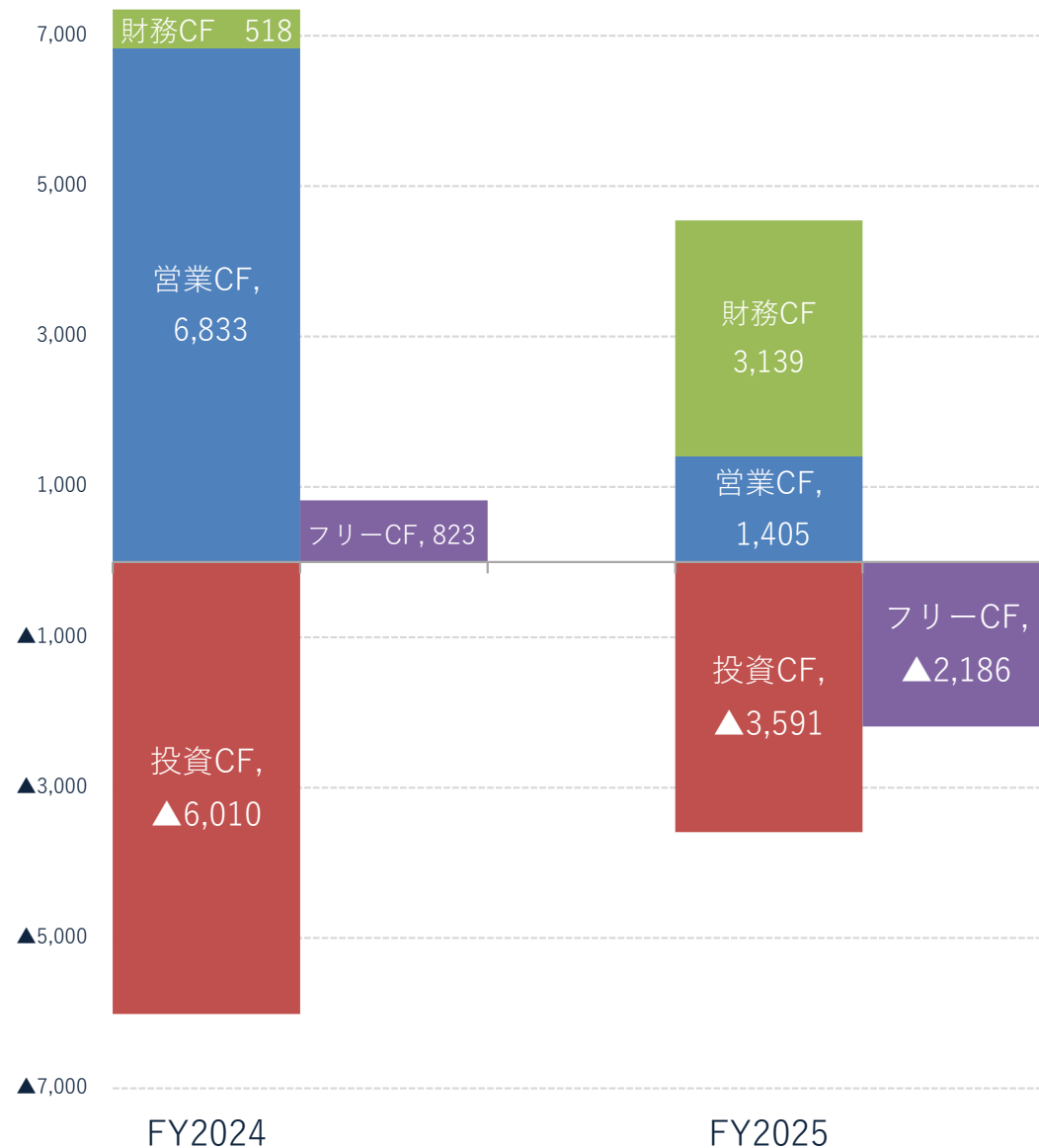
韓国子会社における社債の金利・通貨スワップ取引は当期で終了

※2

ロシア拠点に加えて、主に米国販売拠点の新倉庫に係る各資産を減損処理

連結キャッシュフロー

(単位：百万円)



FY2025の主な内訳

● 営業CF

| | | |
|----------|--------|-----|
| 税金等調整前利益 | 995 | 百万円 |
| 減価償却費 | 4,244 | |
| 減損損失 | 1,947 | |
| 売上債権の増加 | ▲3,283 | |
| 棚卸資産の増加 | ▲1,426 | |
| 法人税等の支払額 | ▲849 | |

● 投資CF

| | |
|------|--------|
| 設備投資 | ▲3,976 |
|------|--------|

● 財務CF

| | |
|----------|--------|
| 借入金の増加 | 6,967 |
| 社債償還 | ▲2,693 |
| リース債務の返済 | ▲705 |

I. 2026年3月期実績

II. 2027年3月期計画

III. トピックス

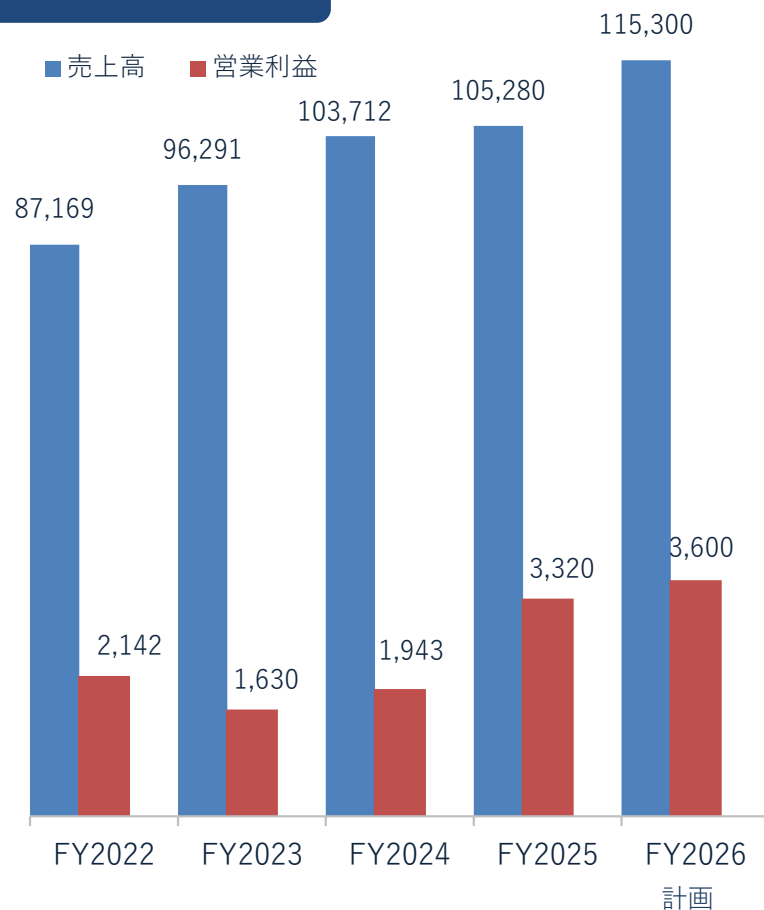
2027年3月期 連結業績計画



- 韓国の電動ウォーターポンプなど冷却装置部品の販売拡大に加え、日本の販売増加や米国の大口受注などにより売上増加を計画
- 販売の増加や価格の見直しに加えて米国販売拠点の移転・集約を中心とした事業再構築の実施効果等により営業利益の増加を計画
- 金融費用の増加に加え、為替差益を見込まず、経常利益は減益となるが、純利益は前年度の減損損失18億円は見込まず10億円の最終利益を計画

(単位：百万円)

5年間の業績推移

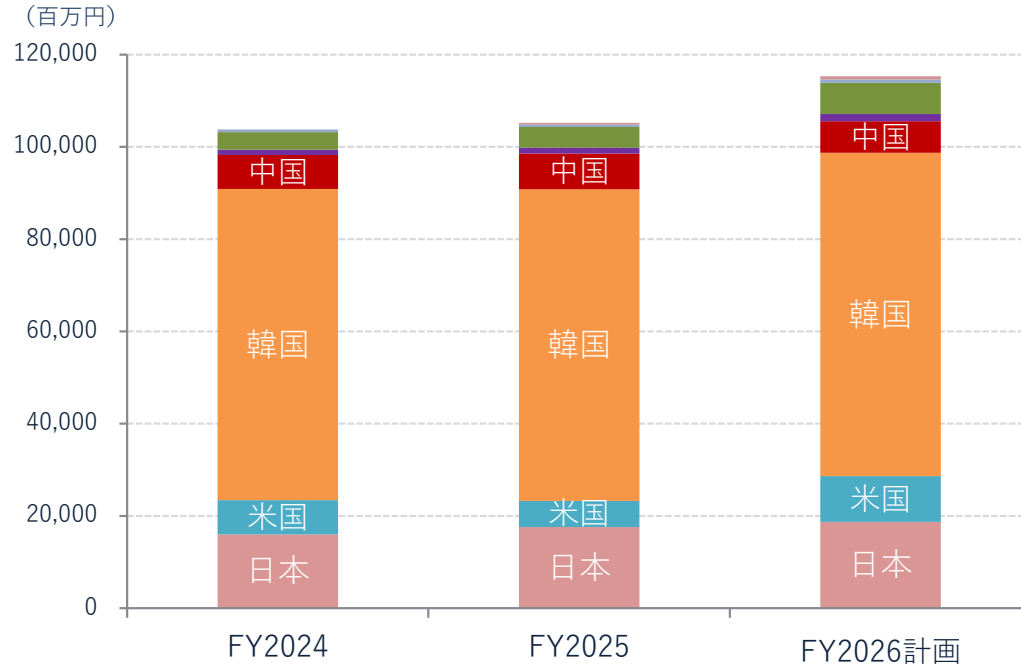


| | FY2025 | FY2026 | 増減 (増減率) |
|-----------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 売上高 (同利益率) | 105,280 (100.0%) | 115,300 (100.0%) | 10,019 (9.5%) |
| 売上総利益 (同利益率) | 19,403 (18.4%) | 21,400 (18.6%) | 1,996 (10.3%) |
| 営業利益 (同利益率) | 3,320 (3.2%) | 3,600 (3.1%) | 279 (8.4%) |
| ※ (同利益率) | 2,791 (2.7%) | 3,800 (3.3%) | 1,008 (36.1%) |
| 経常利益 (同利益率) | 2,948 (2.8%) | 2,250 (2.0%) | ▲698 (▲23.7%) |
| 純利益 (同利益率) | ▲1,035 (▲1.0%) | 1,000 (0.9%) | 2,035 - |
| EPS | ▲194.60 | 187.93 | 382.53 |
| 換算レートUSD | 149.71 | 155.00 | |
| 換算レートKRW | 0.1053 | 0.1060 | |

※子会社GMB KOREA CORPの退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

連結売上高計画

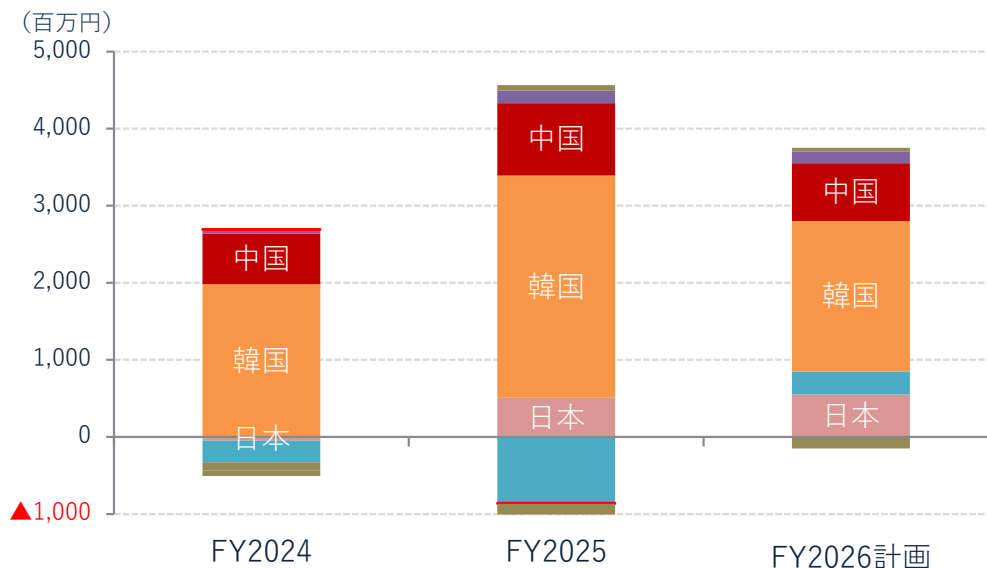
所在地セグメント別の推移



- 日本は海外顧客を中心に補修用部品及び新車用部品での販売増と価格の見直しにより増収を計画。
- 米国は販売拠点の大口受注によって大幅増収を見込む。GMB-USAにおいても販売増加を見込む。
(※別スライドP.14を参照)
- 韓国は電動ウォーターポンプや電動オイルポンプその他で売上の増加を見込む。
- 中国は即墨で前期の現地納入需要が一段落したため、前期比においては減収を計画。
- 欧州はルーマニアでの新規型番の量産開始などにより増収を計画。

連結営業利益計画

所在地セグメント別の推移



- 日本は販売増加や販売価格の見直し、コストダウンなどにより増益を計画。
- 米国は販売拠点の販売増加や価格の見直しに加えて拠点の移転・集約等の事業再構築の実施効果により黒字化を見込む。
(※別スライドP.14参照)
- 韓国は販売増もウォン高や販売価格の値下げ要求による採算の悪化、開発費の増加、退職給付費用の増加（影響額約7億円）などにより、減益を計画。
- 中国の製造子会社は販売減少の影響をコスト削減で吸収しきれず減益を計画。

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 日本 | ▲48 | 508 | 550 |
| 米国 | ▲282 | ▲854 | 300 |
| 韓国 | 1,988 | 2,883 | 1,950 |
| ※ | 2,799 | 2,354 | 2,150 |
| 中国 | 655 | 939 | 750 |
| タイ | 53 | 162 | 150 |
| 欧州 | ▲104 | 73 | 50 |
| 豪州 | 8 | ▲13 | - |
| インド | ▲71 | ▲141 | ▲150 |
| 調整額 | ▲254 | ▲236 | - |
| 連結 | 1,943 | 3,320 | 3,600 |
| ※ | 2,754 | 2,791 | 3,800 |

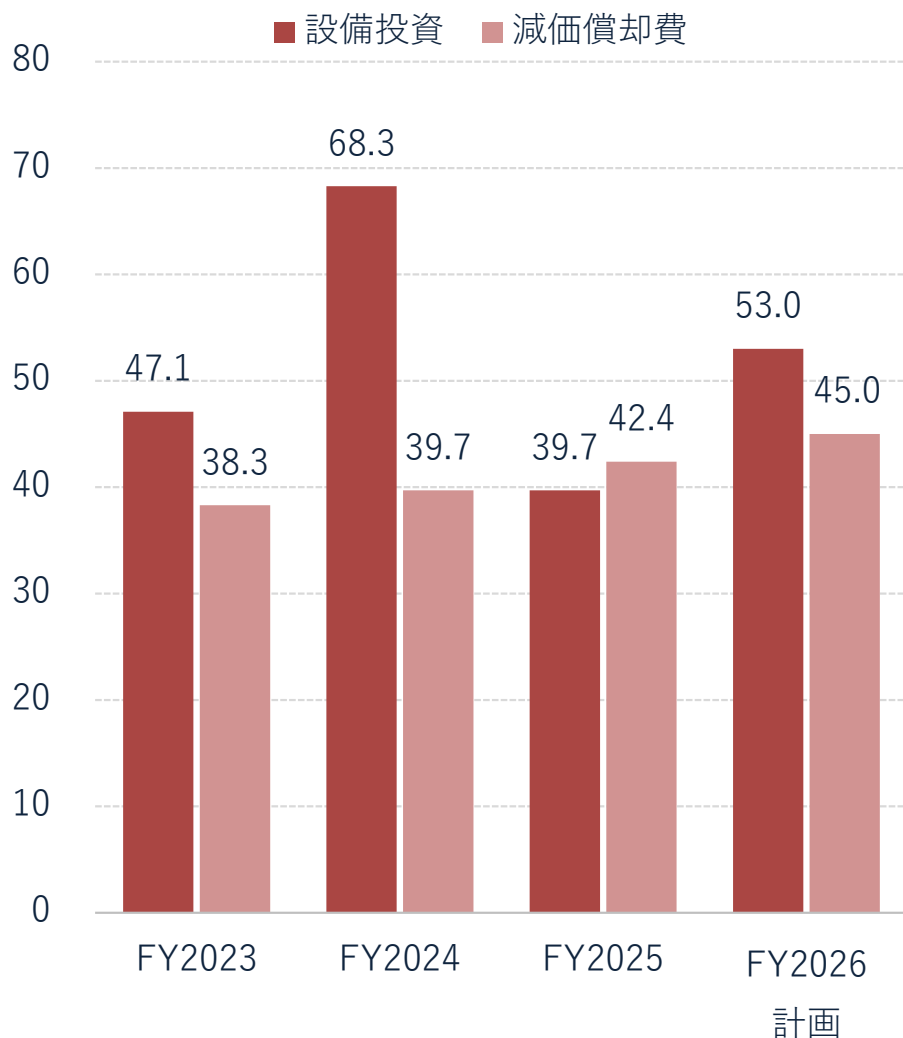
※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

設備投資と減価償却費



(単位：億円)

設備投資・減価償却費



FY2026設備投資計画の内訳

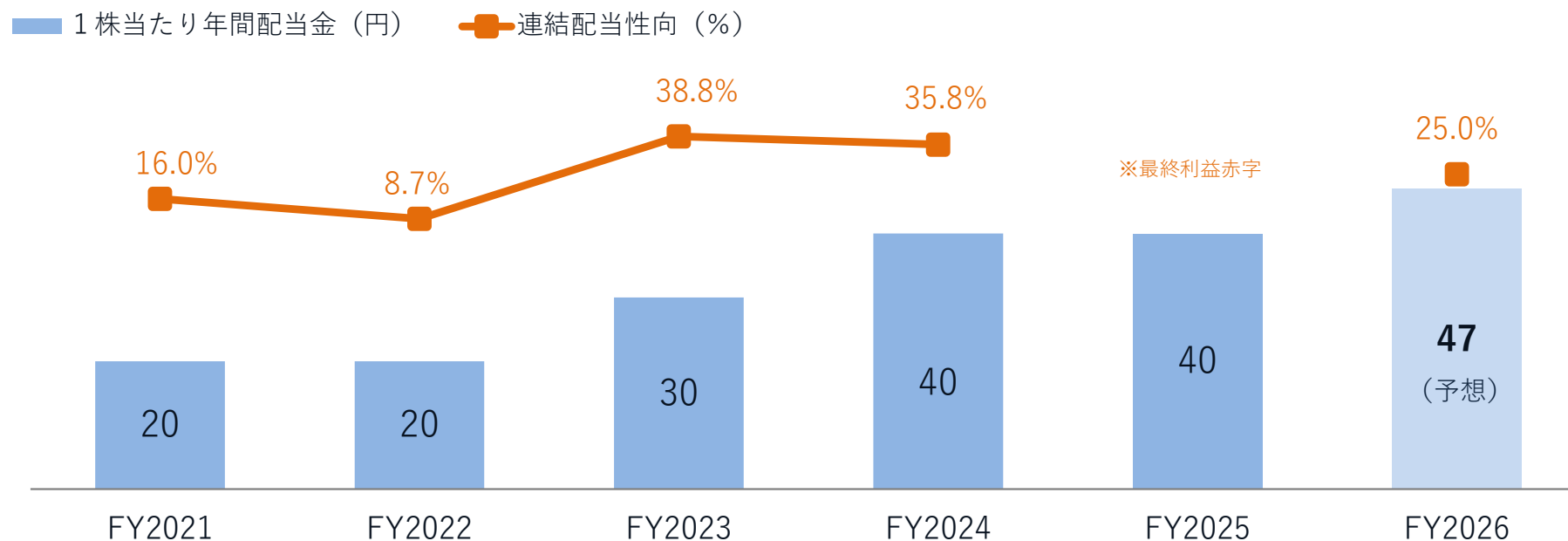
| | 投資額 | 主な内容 |
|-----|------|-----------|
| 日本 | 4.5 | 維持更新・合理化 |
| 米国 | 9.5 | 新設子会社工場設備 |
| 韓国 | 27.5 | 新規開発・増産等 |
| 中国 | 3.0 | 増産・維持更新 |
| タイ | 2.5 | 増産・維持更新 |
| 欧州 | 0.5 | 維持更新 |
| インド | 5.5 | 増産等 |
| 合計 | 53.0 | |

配当方針

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、年間40円を最低配当金とし、連結配当性向25%を目標とする配当を実施する。

⇒ 3ヶ年の中期経営計画の最終年度にあたる2026年度に目標に沿った増配を計画。

配当金と配当性向の推移・計画



米国セグメントの状況

販売子会社は再建と赤字脱却に目途。アラバマ新工場新設により現地供給体制を強化。

セグメント売上高

(単位：百万円)

| | FY2024 実績 | FY2025 実績 | FY2026 計画 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| NORTH AMERICA | 7,120 | 5,034 | 8,900 |
| USA | 322 | 600 | 1,000 |
| ALABAMA | — | — | — |
| セグメント計 | 7,443 | 5,635 | 9,900 |

セグメント利益

(単位：百万円)

| | FY2024 実績 | FY2025 実績 | FY2026 計画 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| NORTH AMERICA | ▲138 | ▲692 | 650 |
| USA | ▲144 | ▲162 | ▲150 |
| ALABAMA | — | — | ▲200 |
| セグメント計 | ▲282 | ▲854 | 300 |

GMB NORTH AMERICA (販売会社/ニュージャージー州)

- 東西倉庫拠点を移転&集約するなどのリストラ策を推進し固定費負担を軽減
- 想定外の輸入関税の追加も価格転嫁で一部吸収
- 不採算な販売を見直し、競合環境の変化もあり新たな大口受注を獲得

GMB USA (工場/デトロイト州)

- 2023年設立 主に米国車メーカー向け生産拠点
- EV車需要の見直しもあり、電動化製品から駆動系部品の現地納入拡大を計画中

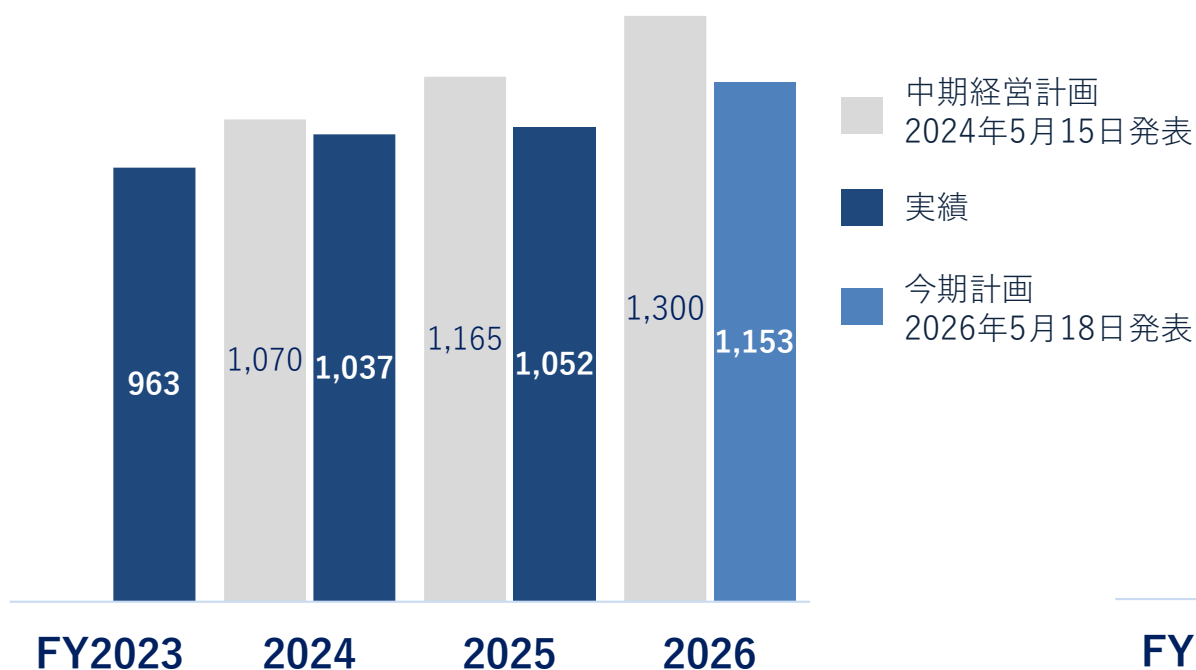
GMB USA ALABAMA (工場/アラバマ州)

- 韓国車メーカーの米国主力工場の近郊に2026年2月に設立し、2027年からの本格稼働を計画
- HV/EV車向けの電動化製品の現地生産・納入拠点として5年以内に年間売上100億円規模を目標

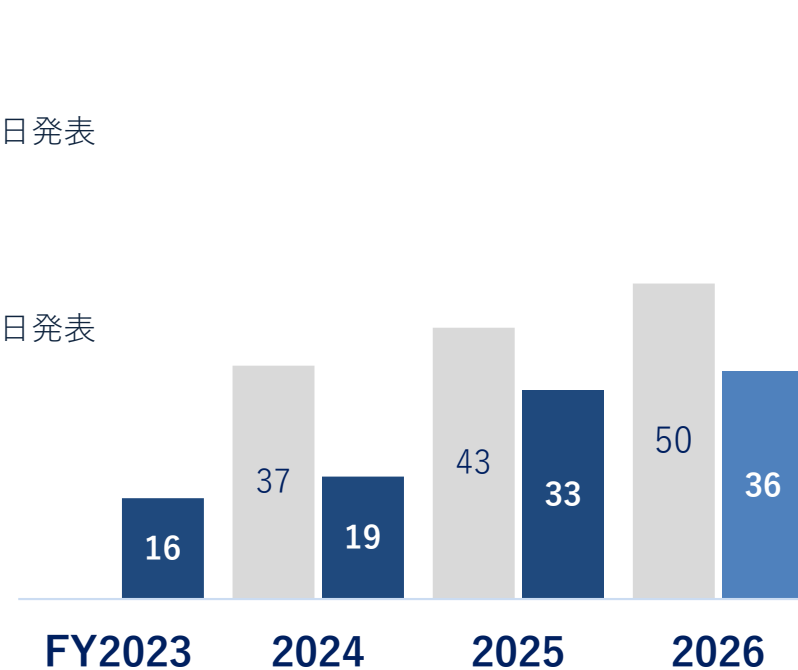
中期経営計画の進捗状況

最終年度を迎える3ヶ年の中期経営計画に対しては、EV需要の停滞や米国の関税政策の影響などの環境変化のなかでも、①電動化対応・②顧客のグローバル戦略対応・③補修用部品の拡販・④OEM外注化対応、の4つ重点施策を確実に推進することで事業成長を継続中であり、次期計画につなげていきたい。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



I. 2026年3月期実績

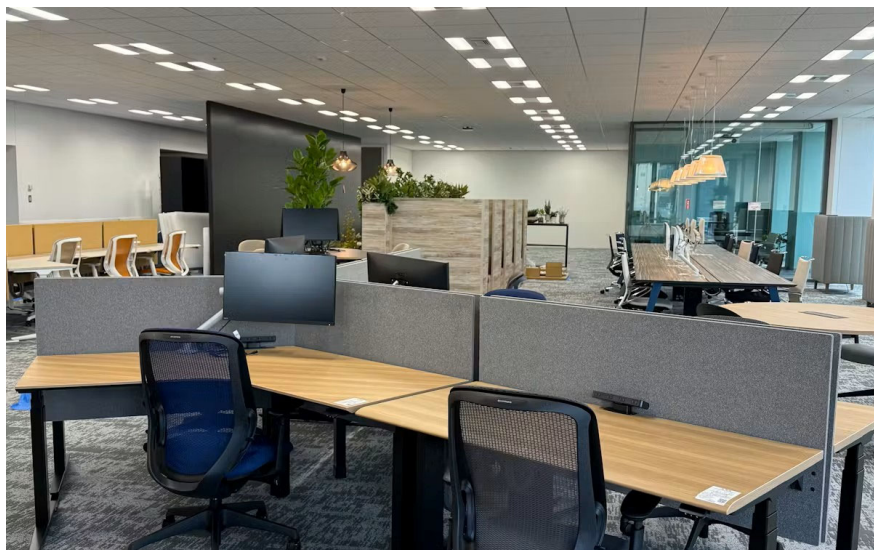
II. 2027年3月期計画

III. トピックス

トピックス

① 大阪支店開設

2026年1月、北浜および淀屋橋オフィスを統合し、大阪・淀屋橋に「大阪支店」を開設しました。営業、人事、経営企画などの主要部門を集約することで、部門間の連携強化や意思決定の迅速化を図るとともに、働きやすい職場環境を整備しています。本統合により、業務効率の向上とサービス品質のさらなる向上を目指し、事業基盤の強化を推進してまいります。



② 中国/青島GMBが設立30周年

中国の生産拠点である青島吉明美機械制造有限公司は設立30周年を迎えました。これまでの発展を支えていただいた関係者の皆様へ感謝の意を表するとともに、今後もGMBグループの中国主力工場としてさらなる品質向上と生産体制の強化に努めてまいります。





- 将来予想に関連する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえでご利用ください。
- 本資料および当社IRに関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>

G M B 株式会社 経営企画部

Email : ir@gmb.jp